

栃木県医師確保計画（8期前期計画） 骨子案

第1章 計画に関する基本的な考え方

1 策定の趣旨等

- ・医師の偏在は、地域間、診療科間のそれぞれにおいて、長きにわたり課題として認識されながら、現時点においても解消が図られていない。
- ・本県においては、「栃木県医師確保計画」を「栃木県保健医療計画（8期計画）」の一部として策定し、医師偏在指標に基づく医師確保の方針、確保すべき目標医師数を示すとともに、目標の達成に向けた施策内容を示すこととする。

2 医師確保計画の長期的な目標等

- ・目標年 2036年
- ・目標 栃木県及び各二次医療圏の医師偏在指標が全国値と等しい値となること
- ・計画期間 令和6（2024）年～令和8（2026）年
- ・【全国の医師数が全国の医師需要に一致する場合の医師偏在指標（イメージ）】

第2章 栃木県の医療を取り巻く状況

- ・【栃木県医療圏図】

1 人口構造

- ・【性年齢階級別人口数】

2 医師数

- ・【全国及び栃木県の医師数の推移】
- ・【各医療圏・各診療科別医師数】
- ・【本県の年齢階級別医師数】
- ・【本県及び全国の性・年齢階級別医師数・男女別構成比】

3 医師偏在指標

- ・【標準化医師数】
- ・【本県及び二次医療圏ごとの現在時点の医師偏在指標】

第3章 医師確保の考え方

1 医師多数区域及び医師少数区域の設定

- ・【本県の医師少数区域及び医師多数区域の設定】

2 医師確保の方針及び目標医師数の設定

- ・【本県における医師確保の方針及び目標医師数】

3 目標医師数を達成するための施策

- ・【キャリア形成プログラム運用方針】 等

4 必要医師数

- ・【必要医師数】（医療圏別必要医師数・供給推計）

5 医学部における地域枠等の設定

- ・【地域枠及び修学資金概要】

第4章 産科・小児科における医師確保計画

第4-1章 産科における医師確保計画

- 1 本県の産科医療を取り巻く状況
 - ・【栃木県周産期医療圏図】
 - ・【分娩取扱医療機関数】
 - ・【年間調整後分娩件数】
- 2 産科・産婦人科医師数
 - ・【全国及び栃木県の産科・産婦人科医師数の推移】
 - ・【本県の年齢階級別医師数（産科・産婦人科医）】
- 3 分娩取り扱い医療施設の状況
 - ・【施設数】
- 4 産科における医師偏在指標
 - ・【本県及び二次医療圏ごとの現在時点の医師偏在指標】
- 5 相対的医師少数区域の設定
 - ・【本県の相対的医師少数区域の設定】
- 6 産科における医師確保の考え方
 - ・【医療圏別の産科における医師確保の方針】
- 7 産科医確保に向けた施策

第4-2章 小児科における医師確保計画

- 1 本県の小児医療を取り巻く状況
 - ・【栃木県小児医療圏図】
 - ・【年少人口の推移】
- 2 小児科医師数
 - ・【全国及び栃木県の小児科医師数の推移】
- 3 小児科における医師偏在指標
 - ・【本県及び二次医療圏ごとの現在時点の医師偏在指標】
- 4 相対的医師少数区域の設定
 - ・【本県の相対的医師少数区域の設定】
- 5 小児科における医師確保の考え方
 - ・【医療圏別の小児科における医師確保の方針】
- 6 小児科医確保に向けた施策

第5章 計画の推進

- 1 医師確保計画の効果の測定・評価